

なみかわ健けん

後援会ニュースレター Vol.5 内部討議資料



共に創った
4年間

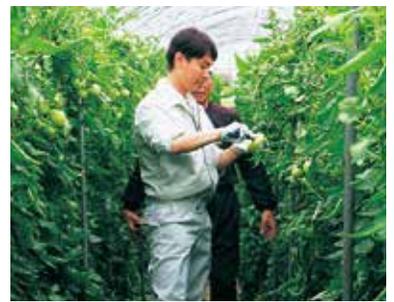
ここから4年

+

共に支え合うマチ
天理を目指して!

オール天理の果実 裏面へ

財政上も、平成27年度は約9.6億円の黒字決算。「将来への借金のツケ」も改善傾向です。これらの取組が、市民の皆さまの暮らしにしっかり根付き、実感できる豊かさを生み出すには、これからが「正念場」です。『共に創る明日の天理』に加えて、『共に支え合うマチ天理』を目指し、高齢者や子育て世代の孤立を解消し、支え合える地域社会の再構築を目指します。



平成25年10月に市政をお任せ頂いてから3年あまり。決して、なみかわ個人の業績ではなく「オール天理」の街づくりによって、暮らしの豊かさと活性化の両面で様々な成果を達成することができました。



広がり、強まる「オール天理」の輪!

本年2月の「なみかわ健市政報告会」は、市民会館にお越し下さった約1,000名の満場の皆さまから温かいご激励をいただき、「共に創り、支え合うマチ天理」に向けた結集の集いとなりました。平成28年12月の市議会で、「次の4年」に向け決意を表明した、なみかわ。皆さまのご期待にお応えするべくより一層精進していきます。



シゴトを創る「ヒト」をつなぐ

道路アクセス向上を企業立地や六次産業団地誘致に繋げます。また子育て支援と組み合わせ、ICTも活用した、女性や障がい者就労支援等も積極的に進みます。



子育て世代×高齢者をつなぐ
「孤(子)」育て、高齢者の孤立を越えるために。子育て世代すこやか支援センター、メディアカルセンター、天理駅前広場、各公民館等を拠点とし、様々なサークル、サロン活動と繋がり、ネットワークを創ります。まだ活かせる食糧を使ったイベントや子ども食堂なども計画します。また、地域と連携した学びの場づくり、子ども達の特性に応じた、個性を活かせる教育環境の整備に全力で取り組みます。



暮らしと安全をつなぐ
消防団や自主防災組織との連携を強化し「災害弱者」のケアを含めた地域防災力の強化、浸水対策等に取り組みます。また、10市町村による広域ごみ処理のための新クリーンセンター建設を環境保全と地域振興に万全を期しながら、なみかわの使命としてやり遂げます。

天理の魅力をつなぐ
山の辺の道をはじめとする豊かな里山のくらし、歴史、音楽やスポーツなどのコンテンツを紡ぎ、周遊観光やモノづくり、移住定住促進に繋がります。

自由民主党奈良県参議院
選挙区第二支部長 **佐藤啓**

自由民主党天理市支部
支部長 **岩田国夫**

自由民主党天理市支部
幹事長 **川口延良**

自由民主党奈良県
第二選挙区支部長 **高市早苗**

自由民主党奈良県参議院
選挙区第一支部長 **堀井巖**

なみかわ健後援会

一会长 **前田 正一郎**

一副会长 **中畠 欣成**

一副会长 **酒谷 雅典**

私達もなみかわ健さんを応援します。

なみかわ健後援会は、「オール天理」、県及び国との緊密な連携の中で、天理の地方創生を力強く進めるなみかわ市政の継続に向け、全力で取り組んでいきます。皆さまのご鞭撻とお力添えをよろしくお願い申し上げます。





オール天理の果実 できたこんなにも たくさんのこと

医療×介護



**介護と医療を結ぶ地域包括ケアの
拠点・新メディカルセンター**

診療+健診機能を強化した他、休日応急診療所を併設し、365日対応できる施設に。介護や認知症予防の講座を実施し、医療介護関係者の交流拠点にも。県市連携により、ケア情報の共有事業も開始。今後、地域のサロン活動と連携を強化していく。

子ども医療の通院費助成を 中学生までに拡大

精神障がい者医療費助成も2級までを対象とする予定（H29年度より）

子育て



子育て世代すこやか支援センター（H29年春オープン）で妊娠から就学までワンストップの子育てコンシェルジュを設置。産後ケアの実施や、子育てサークルの拠点にも。電子版母子手帳も今春より運用。幼保の多子世帯の負担軽減も拡充。

切れ目のない 子育て支援

働き方改革× 起業・就業支援



天理市しごとセンター

ハローワーク分局を誘致し、市の起業就業支援と連携。また、「企業立地支援条例」も改正し、優遇プランを拡充。モノづくり支援事業も展開中。

天理市産業振興館／テレワークセンターでは、京阪神への通勤が不便な天理の弱みを将来的に解消する新たな働き方としてテレワークを推進。介護離職や子育て期の離職防止につながった実例が出てきている。



学び



高原・福住

ICT（情報通信技術）を活かした語学授業を充実させ、校区外から通学可能とした結果、H29年度は生徒数が2割増加見込みに。移住定住PRの実施の他、幼稚園跡も地域の交流拠点として再生。

学校 活性化



前栽小学校

実現困難な5年43億円の改築案を、1.5年25億円に合理化し実現。丹小、福住小の耐震化、山の辺小プール・体育館改修、児童保育の拡充、幼稚園長時間保育等を実施。+学校多目的室活用、図書館の未就学児開放、放課後土曜講座等も進展中。

嘉幡保育所

建築時の不備から、耐震性がなくことを確認。直ちに、新園舎を建設。費用も4億円以上合理化。柳本幼でも同様の危険性を確認し、小学校で安全を確保の上、改修に着手。



子どもの命を守る

道路 アクセス



名阪側道

上総〜喜殿〜南六条を結ぶ市中心から郡山JCTを結ぶ動脈が、H29年春に開通予定。天理王寺線〜西長柄運動公園を結ぶ「九条バイパス」も県市連携道路として事業化され、都市計画決定変更を実施済み。「北大路線」も平成30年度に市道まで接続見込み。道路アクセスの改善を、通学路の安全確保や防災・救急に加え、企業立地支援の強化につなげていく。

街づくり協議会

行政×議会×地域が一体となり、活性化を実施。

街づくり



新天理駅前広場（H29年春オープン）は子育て／遊び場と健康づくりの施策をつなぐ拠点+音楽・文化、スポーツ、観光発信やモノづくり支援の拠点に。県市連携協定のきっかけになり、また、総務省「ローカル10000プロジェクト」に認定される等により、市の負担は半分弱に。これまでに何倍もの国県事業・計画の誘致につながった。

新標本公民館や山の辺の道のトレイルセンターもつなぎ、地域コミュニティと農商業の振興、地域の歴史を活かした周遊観光を結びつける。各地のマルシェやバルなどの取組も積極的に推進、連携。



- 二階堂駅北口浸水解消、二ノ坪/三ノ坪の浸水軽減
- JR近鉄駅前、全小学校前の防犯カメラ設置
- 核家族、高齢者世帯など（少量使用世帯）の水道基本料金の改定
- コンビニでの住民票等発給
- 近居同居のための住宅改修補助
- チャイルドシート・絵本購入支援
- など、安心安全、生活支援のための施策も様々実施してきました。

天理市だけではない、協働の広がり



国の地方創生交付金事業にも、本市プロジェクトが次々に「先行的なモデル」として採択された。

天理大学や奈良県立大学とも連携協定を締結。活性化事業や連携授業等を実施。

39市町村初の県市連携協定を締結。磯城郡3町、山添村とも「定住自立圏」を結成し、境を越えた行政サービスを実施。



共創と協働で、 やりくりもしっかり！

- 平成27年度実質収支**9.6億円の黒字**
- 将来負担比率（借入金等が将来財政を圧迫する可能性の度合い）も徐々に、**改善傾向**

